

庄司 昌彦

しょうじ まさひこ / Shoji Masahiko

所属・役職	武蔵大学社会学部メディア社会学科 教授 武蔵学園データサイエンス研究所 副所長 デジタル庁 オープンデータ伝道師	
活動拠点	主に東京	
略歴	2002年 中央大学大学院総合政策研究科博士前期課程修了、修士（総合政策） 2002年 国際大学 GLOCOM 研究員（～現在：主幹研究員） 2019年 武蔵大学 社会学部 教授（～現在） 2023年 武蔵学園データサイエンス研究所 副所長（～現在） 2024年 東京大学 空間情報科学研究センター 客員教授（～現在）	
こんなことを相談できます	<p>① 地域社会 DX と自治体（行政）DX の総合的な計画策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省・デジタル庁等の行政デジタル化議論への参加経験に基づく解説・助言。 ・地域社会 DX や自治体 DX 等に関する地域情報化ビジョン、戦略、計画の策定支援。 <p>② データ活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン／ビッグ／パーソナルデータ等の活用に向けた国内外施策や事例の紹介。 ・官民協働の場づくりと運営支援、自治体内の機運醸成や体制構築の支援。 <p>③ 情報社会における地域経済・社会運営の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会学の観点から地域経済・社会運営のあり方についての考察・問題提起。 	
自治体向けメッセージ	研究者としては、「情報社会」の潮流や特徴を分析する情報社会学を専門としており、企業や政府・自治体との共同研究を多数行っています。利活用面や運営面に重点を置き、国内外の多種多様な事例を分析し、特徴を把握し、今後のビジョンやあり方を提言するアプローチを得意としています。	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

標

自治体システムの標準化・共通化

OD

オープンデータ

生成

生成AI活用

<地域情報化に関する実績>

○行政 DX・地域情報化に関する主な活動（現在）

- ・総務省 地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会 座長
- ・総務省 自治体システム等標準化検討会（住民記録・税務・選挙人名簿管理） 座長
- ・デジタル庁 オープンデータ伝道師
- ・三重県デジタル推進フェロー
- ・宮城県仙台市 情報アドバイザー
- ・宮城県石巻市 DX 推進アドバイザー
- ・東京都江戸川区 DX 推進アドバイザー
- ・千葉県 DX アドバイザリー会議 座長
- ・静岡県三島市 情報戦略アドバイザー
- ・奈良県 こども・子育て推進アドバイザー（こども・子育てDX担当）
- ・一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン代表理事